

# 会頭独白

## 2

### 「久留米づくり」へ鳩山代議士の 貢献大ー経済界に大きな喪失感ー

#### ブリヂストン創業者の 残した遺産

この夏、久留米地方は近来にない猛暑に見舞われました。じりじりとした暑さに加えて、われわれ経済人の肩ののしかかってきたのが、地元選出の鳩山邦夫衆院議員の訃報でした。一報を聞いた時、脳裏をよぎったのは「久留米の再浮揚に欠かせない大事な人物を失った」という大きな喪失感と盟友が消えた喪失感。呆然としました。

最大限に活用させてもらっています。市の活性化にも役立っていることは言うまでもないことでしょう。

#### 祖父正二郎氏の遺志・ 実践した鳩山少年

正二郎氏が心から願った「立派な久留米にしたい」との思い。祖父の遺志を引き継ぎ、持ち前の実行力で実践していただいたのが鳩山先生でした。小学生のときには、夏休みに毎年、母親の安子さんのルーツである久留米に里帰りし、「ふるさと久留米」への親しみを育ててきた鳩山少年が、政治家としてやろうとした最後の仕事「立派な久留米づくり」だったのではないのでしょうか。

4月に開館した久留米シティプラザは、鳩山先生が久留米のために尽力していただいた最後の仕事でした。おかげで街には活力がはじめてきました。市民が鳩山先生に投票した一票よりも、久留米にもたらされた数々の功績を上げれば、尽力のメリットの方が多かっただろうと秘かに思っています。



久留米の水天宮は全国にある水天宮の総本宮  
安倍総理に「久留米つばき」を贈呈

業者の石橋正二郎氏は著書に「私の会社はふるさと久留米から始まった。これからもっと会社を発展させるには、久留米も発展しなければなりません。」

久留米は先人たちがそうであったように、生まれたり、縁があった人たちが何とか貢献したいという気持ちを起こさせる不思議な魅力を持つ地域ではないのでしょうか。久留米づくりに参加しようという「新久留米人」の登場に期待がかかります。

#### 新しい分野へ広げた 商工会議所活動

国への働き掛けはわれわれが推す国會議員、市民の生活の安心・安全を守るには行政を預かる久留米市長、そして、経済活動の活性化を目指す商工会議所。これが久留米を発展させる三本柱というのが、会頭に就任以来一貫して持ち続けている私の考



会議所が事務局となって「くめ楽衆国まつり」を開催

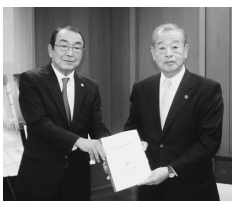
えです。これまでこのバランスがうまく働き、一歩ずつですが、久留米は前進しています。この10月で私の会頭としての3期の任期が終わります。この間、会議所議員、職員の郷土を盛り上げたいという熱心な協力でさまざまな案件を手掛けてきました。すべてが順調にいったとはいえませんが、会員の皆さんからみていかがだったでしょうか。自己満足かもしれませんが、合格点はもらったかなと自負しています。

一期目からのモットーである会員とのコミュニケーションを心がけながら「対話なしには会議所も活発化しない」と努力を重ねてきました。会員の要望をじっくりと聞いて実現に向けてさまざまなところへ紹介、橋渡しをする取り組みなどがその典型です。今までやらなかった分野の会議所活動に手を広げ、実績を上げてきました。

会議所の経営革新の取り組みが、国の中小企業白書に取り組み事例として、全国商工会議所の中で唯一取り上げられ、掲載されたことは久留米として誇らしい出来事でした。

#### 久留米創生の仕上げに 挑戦！

人問得てして、一つのポストに長く座れば怠惰な気分になりがちです。そうならないため



久留米創生戦略を市長へ提言

「久留米のものは久留米から」という循環型経済の構築が、会頭としての最大の目標です。しかし、道はまだ半ば。会員、市民の皆さんの協力を得ながら、目標に少しでも近づけるよう歩き続けたいと念じてやみません。



久留米大学との事業連携協定の締結



久留米工業大学との事業連携協定の締結

昨年、会議所は久留米創生戦略会議で練り上げた創生戦略を市に提言しました。この8月、創生戦略の中から具現化できるものを手掛けるため、「久留米創生特別委員会」を立ち上げました。久留米のものを使って久留米産の商品を実現しようという意欲的な取り組みです。いよいよ久留米創生が本格始動し始めたのです。榎原利則市長を始め産学官のトップリーダーが委員会を構成、その下に設けられる各分野のプロジェクトチームが新商品や新サービスを開発する仕組みは、「久留米力」そのものだと思います。